



2025年の主な出来事



1月11日 第55回桜島火山爆発総合防災訓練(避難所体験・展示訓練)
13日 「小型充電式電池等」の分別収集を開始
20日 タクシー「シェア乗り」実証実験を開始(3月30日まで)
29日 マリーサポートかごしま(市結婚相談所)でAIマッチングシステムの運用を開始

2月4日 「令和7年国勢調査鹿児島市実施本部」を設置

3月2日 「鹿児島マラソン2025」県内外から約1万1千人が参加
15日 **1** 県内で15年ぶりの新駅「JR仙巖園駅」が開業
20日 都市農村交流センターお茶の里が開設10周年

4月8日 鹿児島女子高等学校の学科リニューアル後、初の入学式
14日 JR喜入駅に新たな交流拠点「ゆなべす喜入」がオープン

5月17日 「鹿児島焼酎&ミュージックフェスin渋谷」を開催(18日まで)
18日 「渋谷・鹿児島おはら祭」2,200人を超える踊り手が参加
27日 桜島学校の校歌制作者に吉俣良さん、上白石萌音さんが決定
31日 **2** かごしま水族館で2月に生まれたイルカの赤ちゃんの愛称が「ユキ」に決定

6月2日 ワーク・ライフ・バランスの推進や、奨学金代理返還に取り組む中小企業の支援制度を開始

7月7日 **3** ふるさと納税PR部長に本市出身で俳優・タレントのひょうろくさんを任命
4 地震が続く十島村恵石島へ市立病院看護師を派遣(13日まで)
8日 初の総務省出身である中西則文副市長が就任
26日 「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録10周年記念シンポジウムを開催
31日 武中・鶴岡第二中の兄弟校盟約50周年記念式典を開催



1



2



3



4

8月5日 平和都市宣言35周年・戦後80年を記念して本市中学生をヒロシマ平和学習のため広島市へ派遣(7日まで)
11日 **5** 「ナガサキ原爆展」と「鹿児島市の戦災と復興資料・写真展」を開催(17日まで)
18日 かごしま水族館で11代目ユウユウ(ジンベエザメ)の展示開始
23日 「かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会」を開催

9月1日 ・広報紙「かごしま市民のひろば」700号発行
・市内一部の郵便局でマイナンバーカードの電子証明書関連事務の取り扱いを開始
19日 かごしま近代文学館「やなせたかし展」が特別企画展として最高入場者数の26,690人を記録(10月20日まで)

10月1日 ・桜島フェリーの深夜帯運航を停止
・市公共施設の使用料に市外料金・市民料金を導入
・税業務の一部を本庁・谷山支所に集約し、税務相談窓口システムの運用を開始
4日 市内の企業経営者などで構成する「女性活躍応援リーダーズ」が始動
7日 京都大学防災研究所と連携協力協定を締結
17日 「認知症高齢者等の見守り活動等に関する合同協定書交付式」を実施
29日 市中央卸売市場開設90周年記念式典・祝賀会を開催

11月2日 **6** 「おはら祭」仮装踊り連が本まつりに登場(3日まで) **5面**
4日 **7** 伊・ナポリ市へ姉妹都市盟約65周年記念訪問団を派遣(10日まで) **5面**
9日 **8** 「こどもまんなかフェスタ2025」を開催 **5面**
15日 第56回桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)



5



6



7



8

市長からのメッセージ

この一年を振り返って

市役所前のみなと大通り公園では、今年からデザインを刷新したイルミネーションの光が冬の街並みや、訪れる人々を温かく照らしています。

私の2期目が実質的にスタートした今年は、本格的な人口減少時代を乗り越えていけるよう、長引く物価高騰など直面する多くの課題に対応しながら、本市が将来に向けて力強く前進するために全力で取り組んでまいりました。

人口減少が特に顕著である若い世代、子育て世代の皆さまに選ばれるまちの実現に向け、2年連続となる保育所等の待機児童数ゼロを多くの保育関係者のご協力の下で達成することができました。さらに、子ども達が安心して医療機関を受診できるよう、中学3年生までの窓口負担をゼロにする、こども医療費の見直しを行いました。

また、人生100年時代を見据えた取り組みとして、認知症の高齢者やそのご家族が地域で自分らしく暮らし続けられるまちをめざす「認知症オレンジシティかごしま」を宣言し、賛同いただいた企業などの皆さんによる地域での高齢者の見守り活動が早速始まっています。

そして、本市のオンリーワンの観光資源を生かした取り組みとして「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録から10周年を迎える中、構成資産のある磯地区に仙巖園駅が開業した効果をさらに高めるため、磯ビーチハウスに、民間によるカフェやリゾートホテ

ルを整備し、桜島や錦江湾を眼前に望む絶好のロケーションを、夏だけでなく年間を通して楽しめる施設へとリニューアルすることで、この一帯に新たな人の流れや賑わいを創り出しました。

一方で、8月には台風や局地的な大雨により、市内各地で浸水などの大きな被害が発生しました。また、桜島は大規模噴火への警戒が必要な時期を迎えています。今後もさまざまな事態を想定した実践的な訓練や、今年新たに設置した桜島火山防災研究所の知見を積み重ねることで、自然災害から大切な命を守る対策の更なる強化を図ってまいります。

今年一年、市民の皆さまには各施策の推進にあたり多大なるご協力をいただきましたことに、改めまして深く感謝申し上げます。

来年も、私たちを取り巻く環境の変化を踏まえつつ、積極的にデジタルの力も取り入れながら、時代に未来に「選ばれるまち」の実現に向けた取り組みを進めてまいります。市民の皆さまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

令和8年が希望にあふれ、素敵な年になりますよう心よりお祈りいたします。

鹿児島市長

下鶴 隆央

